

私たちの仕事は、特別な日を創ることです

# CERESPO

セレスポ

セレスポ・ニュース  
平成 29 年 4 月発行  
第 91 号

NEWS vol. 91 April 2017

東京2020オリンピック英国チーム事前キャンプ契約締結式  
Signing Ceremony for Team GB Preparation Camp  
for Tokyo 2020 Olympic Games



セレスポ  
Pick Up

東京 2020 オリンピック

英国チーム事前キャンプ契約締結式

「日英がともに  
未来に向けて歩んでいく」

セレスポは  
スポーツ推進企業128社より  
モデル企業10社に選ばれました。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、各国選手団のキャンプ地が続々と決まっています。モンゴルは種目別に静岡県と青森県、スリランカは千葉県。2012年のオリンピック・パラリンピック開催国でもあったイギリスのキャンプ地は神奈川県に決定、慶応義塾大学で契約締結式が執り行われました。



慶応義塾大学  
横浜市 川崎市  
東京2020  
オリパラ英国チーム  
事前キャンプ  
契約締結式

# 東京2020、 英国選手団の キャンプ地決定!



## イギリス駐在大使や 内閣官房も見守る中での 締結式

3月21日、慶応義塾大学（日吉キャンパス）で「東京2020オリンピック英国チーム事前キャンプ契約締結式」が行われました。式では英国オリンピック・パラリンピック委員会（BOA）のヒュー・

ロバートソン委員長、横浜市の林文字子市長、川崎市の福田紀彦市長、日本オリンピック委員会の竹田恆和会長が集まり、それぞれの所感を語った上で英国選手団のキャンプ地、トレーニング施設の利用を決める契約書にサインをしました。

また来賓として、英国大使館のポール・マデン駐在大使をはじめ、内閣官房や外務省、文部科学省、東京オリンピック・

パラリンピック競技大会組織委員会も出席。司会を務めたロンドンオリンピックの競泳200mで銅メダルを獲得した立石諒選手とともに締結式を見守りました。

「ロンドンオリンピックでは、選手村でボランティアの方々にたいへん良くしていただきました。おかげで私も全力を出すことができ、銅メダルを獲得できたと思っております。今回、司会という大



役を任せてもらえたことを嬉しく思います」(立石選手)

## ロンドンのもてなしと同じように 日本もおもてなしをしたい

「BOAは“Journey”という言葉を使って、『一緒に歩んでいきましょう』と声をかけてくれました。この精神を受けて、ロンドンオリンピック、パラリンピックで受けた温かいおもてなしと同じように、慶応義塾大学の学生、職員、卒業生や地域のみなさんと温かく英国の選手団を迎えたいです」(清家篤慶応義塾塾長)

本契約では、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年の7月から8月にかけてアーチェリーやフェンシング、バドミントンを始め13競技の英国選手団が、慶応義塾大学、横浜市や川崎市でキャンプ、トレーニング施設利用を定めたもの(2017年4月時点)。また両国の交流を盛り込んだ、ホストタウン交流計画についても触れました。

「オリンピック・パラリンピックを通じて、スポーツだけではなく学術研究や芸術の分野でも一緒に歩んでいく旨を盛



り込み、2020年に向かって進めていきます」(清家塾長)

締結式では清家塾長、林市長や福田市長も英国の選手団が全力を出せる環境、場を用意することへの意気込み、またその先のイギリスとの交流に大きな期待感を寄せていることが伝わってきました。これを受けて、最後にBOAのロバートソン委員長、マデン駐在大使も期待感を持っていることを語り、式を締めくくりました。



「ロンドンオリンピック、パラリンピックはイギリスに多くの変化をもたらしました。同じように2020年は日本のみなさんもたくさんの変化を経験すると思います。今回、慶応義塾大学、横浜市、川崎市の皆さんが英国の選手団を温かく迎え入れてくれることはとても嬉しく思います。今後も日本とイギリスが緊密に一緒に歩んでいくことを楽しみにしています」(マデン駐日英国大使)

## Event Data

- 東京2020オリンピック英国チーム事前キャンプ 契約締結式
- 2017年3月21日 14:00~16:00
- 慶応義塾大学 日吉キャンパス 協生館
- 横浜市、川崎市、慶応義塾大学



株式会社セレスポ  
横浜支店  
北村 大輔  
(きたむらだいすけ)

一緒に未来に向けて歩き  
大きな達成感を感じたい

今回は慶応義塾大学、横浜市と川崎市、日本とイギリスのオリンピック・パラリンピック委員会が参加するイベントを担当しました。会場には英国大使館から駐在大使、各省庁、また多くのメディアの方々も駆けつけてくれました。こうした大学や市、国を代表するかたがたがそれぞれ持っている想いをひとつにまとめるため、情報収集やとりまとめなどには特に細心の注意を払いました。慶応義塾大学さまとは普段からお仕事を一緒にさせていただいているので、イベントの成功に向けて今回もいろいろお力添えいただき、感謝しています。

イベントは小さな仕事でも確実に漏れなくこなしていくことが大切です。そうした積みかさね、経験が糧になり質の向上につながっていきます。企画段階から、現場においても柔軟な発想で考え、自信を持ってお客さまに提案をしていきたい。そのために一つひとつ確実に経験を積んでいくことが大事だと考えています。

これから大きなイベントに向けて、壁にぶつかることも多くなると思いますが、イベントの仕事は最後に大きな達成感が得られる仕事です。今回の調印式はそんなオリンピック、パラリンピック、未来に向けてのイベントでした。私たちがその一翼を担えたことも嬉しいですが、これからみなさんと一緒に未来に向けて歩き大きな達成感を感じられるのも楽しみにしています。

セレスポ  
Pick Up

# セレスポは、スポーツ推進企業128社より モデル企業10社に選ばれました。



モデル企業であることを励みにスポーツを推進していきます

昨年12月、セレスポは従業員のスポーツ活動の促進に向けた取り組みやスポーツ分野における支援を実施している企業として「東京都スポーツ推進企業」128社に認定されました。今回はそのなかか



ら、特に社会的な影響や波及効果の大きい取り組みをしているモデル企業に選定されました。

3月24日(金)東京都庁にて、「東京都スポーツ推進モデル企業表彰式」が行われ、小池百合子都知事より弊社代表取締役社長の稲葉利彦に、表彰状及び記念品の楯が贈呈されました。式典中、稲葉は「これからもモデル企業であることを励みに、東京都と歩調を合わせていろいろな角度からスポーツの推進に努めていきたいと思っております」とご挨拶させていただきました。弊社が、モデル企業として



評価を受けた取り組みのひとつに、アスリートの支援「陸上部の保有」があげられています。今回は陸上部所属の選手をご紹介します。



## 藤沢 沙也加 選手

大好きな陸上競技を楽しむことを忘れずに  
しっかり向き合いたいと思います。

自己ベスト	
種目	記録タイム
100m	11秒81
200m	23秒81
400m	53秒14

2017年度 出場予定	
4月22日～23日	吉岡隆徳記念第71回 出雲陸上競技大会
5月3日	第33回静岡国際陸上競技大会
6月23日～25日	第101回日本陸上競技選手権大会
9月22日～24日	第65回全日本実業団陸上競技選手権大会

SK  
セレスポ



## 中村 真悠子 選手

自分の可能性にチャレンジ、  
感謝の気持ちを込めて走り抜きたいと思います。

自己ベスト	
種目	記録タイム
3000mSC	9分53秒87
1500m	4分21秒35

2017年度 出場予定	
5月20日～21日	第59回東日本実業団陸上競技選手権大会
9月22日～24日	第65回全日本実業団陸上競技選手権大会

3000mSC  
セレスポ



## 真下まなみ (引退)

社会人になってからも自分の好きな陸上競技を続けることができ、恵まれた環境の中でのトレーニング、周囲からの温かい応援やサポートなど、支えていただいた皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。今までたくさんの応援、本当にありがとうございました。(真下まなみ)

自己ベスト	
種目	記録タイム
800m	2分03秒52

まなみ  
セレスポ

発行 発行日：平成29年4月20日

発行元 株式会社セレスポ (CERESPO CO.,LTD.)  
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5(本社)  
TEL : 03(5974)1111 FAX : 03(5394)7651  
http://www.cerespo.co.jp/

編集 山川 謙 (yawn)  
記事 コーポレートデザイン室  
デザイン ジッピーデザイン

編集後記

2012年のロンドンオリンピック・パラリンピックでは、30以上の大学が拠点となり各国の事前合宿が行われました。これにとどまらず、アスリートのパフォーマンス向上に向けた共同研究、コミュニティ・人材育成、文化イベント、国際交流など、まさにオリンピック・パラリンピック教育と言える取り組みが長期にわたり展開され、コンテンツとしてのアスリート、インフラとしての大学を生かすことでイギリス国内外へ波及効果をもたらしました。

こうした成果を知っているイギリスオリンピック委員会がパートナーに大学を加えたことを知った時はとても興奮しました。連携協定から発信される取り組みがスポーツ文化を大きく進められるよう期待しています。